

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース・フィールド
国語科	言語文化	2	1	必	キャリアデザインコース
科目の目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を伸ばすとともに、自分の考えを深めることができるようにする。言葉の価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言語文化としての担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書	新編言語文化（数研出版）	副教材等	セレクト漢字検定 5 級～2 級		

1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を伸ばすとともに、自分の考えを深めることができるようにする。
(3)言葉の価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言語文化としての担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
○地域の「ことば」 とんかつ	8	4・5	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。	○	○	
言語文化と古文 古文に親しもう	2	5	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。	○		
○古文の世界に親しむ 宇治拾遺物語 児のそら寝	5	5	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	○	○	
言語文化と漢文	2	6	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。	○		
○日本語の中に生きる漢文 訓読のきまり、格言	5	6	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	○		
○受け継がれる古典 羅生門	10	7・8	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。		○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
○現代にも生きる教え 徒然草—高名の木登り	5	9	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	○	○	
○故事と成語 漁夫の利、	5	10	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	○	○	
○詩歌を味わう 短歌、俳句	8	11	特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語彙を豊かにすることができる。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	○	○	
伊勢物語	5	12	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。		○	○
○漢詩を味わう 中国の漢詩 春暁、秋浦歌	5	1・2	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。		○	○